

科目ナンバリング		U-LAS04 20010 SJ32							
授業科目名 <英訳>		ジェンダー論基礎ゼミナール Introductory Seminar on Gender Studies				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 石岡 学	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)		教育・心理・社会(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	水5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
この授業では、受講生の報告と討論を通して、さまざまな社会事象に関わるジェンダーの構造的 問題への理解を深めることを目指す。同時に、報告や討論の技術をみがくことも目標とする。 授業では、課題論文に関する報告または各自の興味・関心に基づくテーマに関する報告に基づき、 ディスカッションを行う。									
[到達目標]									
ジェンダーに関する幅広い知識を獲得するとともに、ジェンダーに関する諸問題について考察する能力を養う。確かな根拠に基づき、ロジカルに自身の主張を発表し、議論を深めていくための技術を身につける。									
[授業計画と内容]									
この授業では、ジェンダーの視点にたって社会事象をみるということがどういうことなのか、その基本認識の形成に努める。 第1回：イントロダクション 授業のねらいを説明し、第2回以降の授業の進め方と準備・発表の方法を周知する。出席者の担当部分を割り当てる。 第2回：議論の前提となる基礎知識に関する講義 第3～8回：論文の輪読 ジェンダーの視点からみた学校や家庭での教育、「男らしさ」や「女らしさ」の形成、セクシュアリティの問題などを考察した論文を精読し、ジェンダー論への理解を深める。報告者は、自らが担当する論文の内容について報告を行い、参加者全員がそれに基づいて討論を行う。 第9～14回：各自のテーマに基づいた報告 発表担当者が自らの興味・関心に基づいたテーマに関する報告を行い、参加者全員がそれに基づいて討論を行う。 第15回：フィードバック(方法は別途連絡する。)									
[履修要件]									
全学共通科目「ILASセミナー：ジェンダー論」(総人生の場合は「基礎演習：ジェンダー論」)、もしくは全学共通科目「ジェンダー論」のいずれかを履修済みであることが望ましい。									
[成績評価の方法・観点]									
平常点は、発表担当時の発表内容(20点)と、授業時の討論への参加状況(30点)を総合して評価する。また、学期末には授業全体を通しての報告・議論をふまえたレポートを課し、これを評価する(50点)。 なお、<u>3分の2以上の出席がなければ、いかなる理由があっても単位を認めない。</u>									
ジェンダー論基礎ゼミナール(2)へ続く↓↓↓									

ジェンダー論基礎ゼミナール(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

担当部分の報告にあたっては、課題論文を精読し、必要に応じて他の文献も参照したうえでレジユメを作成すること。報告者以外も、必ず次回授業の課題論文を予習して授業に出席すること。
各自のテーマに関する報告の際には、事前に十分調査したうえで、報告を行うこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部